



グラウンド・ゴルフの特徴

(日本グラウンド・ゴルフ協会パンフレットより)

01 どこでもできる!

規格化されたコースを必要としません。プレイヤーの目的、環境、技能などに応じて、運動場、河川敷、公園、庭など、どこでも、自由にコースを設定することができます。

02 準備は簡単!

ゴルフのように穴を掘る必要がなく、スタートマットとホールポストを設置するだけで準備は完了です。

03 ルールは簡単!

他のスポーツに比べて、ルールが極めて簡単で、一度プレーすれば覚えることができます。

04 時間の制限がない!

ゲームの時間が決まっていないので、時間に制約されることがなく、技能や仲間の数、あるいはコースの特性に応じて、プレーを楽しむことができます。

05 プレーヤーの数に制限がない

グラウンド・ゴルフは1人でも、あるいは場所さえあれば一度に何百人もの人がプレーを楽しめます。

06 審判は自分自身

ゲーム中の審判はプレイヤー自身が行います。判定が困難な場合には、同伴プレイヤーに同意を求めます。

07 高度な技術がなくてもできる

ゲームを楽しむために必ずしも高度な技術を必要としません。子供から高齢者まですべての人が、楽しくプレーすることができます。

グラウンド・ゴルフとは?

専用のクラブ、ボール、スタートマットを使用して、ボールをクラブで打ち、ホールポストにホールイン(入って静止した状態)するまでの打数を競います。

どんな道具を使うの?



- クラブ…ボールを打つ道具で、打つ面は平らで打ちやすくなっています。
 - ボール…他人のボールと区別できるよう、カラフルな色になっています。
 - スタートマット…1打目を打つマットです。
 - ホールポスト…この輪の中にボールを入れます。
- ⇒桂川町グラウンド・ゴルフ場では、クラブ等の貸出も行っています(100円)。

主なルール・マナー

- 他のプレイヤーが打つ時は静かに
 - 自分の作った穴や足跡は直す
 - 物的・人的援助を受けない など
- 詳しいルールは、桂川町グラウンド・ゴルフ場にお尋ねください。

8ホールを順番に打ちスコアの少なさを競う

標準コースは8ホールで行われます。各ホールの開始地点にはスタートマットが設置されています。

まず、スタートマットの上にボールを乗せ、ホールめがけてクラブで打ちます。同じように他のプレイヤーが順番に第1打を打ちます。続いて、ホールポストの輪の中にボールが静止するまで、順番にボールを打ち続けます。

最初のホールが終了したら次のホールへ移り、またスタートマットの上にボールを乗せてプレーを始めます。この要領で全ホールを回り、合計打数(スコア)の少なさを競います。ゲームは団体戦だけではなく、個人戦も競う事が出来ます。

第1打がホールポストに入ったとき(ホールインワン)は、合計打数から3打差し引いて計算します。大会では逆転のホールインワンが飛び出すこともあり、最後まで気を抜かず楽しめます。

はみだしコラム

ホールポストにボールが静止した状態を「トマリ」と言います。これは、グラウンド・ゴルフ発祥の地である泊村の名を残したものです。